



ファミリー特別選抜 専願

ファミリー特別選抜は、本学園が設置する学校等を卒業または在籍している祖父母や親・兄弟姉妹がいる方を対象とした入試で、面接および調査書で判定します。

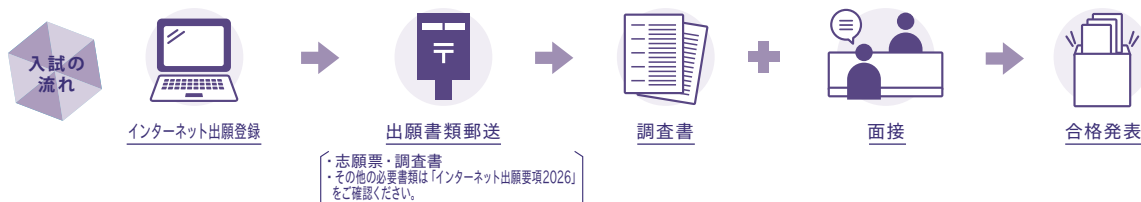
入試日程

大学・短期大学部（共通）

入試種別	出願期間（締切日消印有効）	試験日	合格発表日	入学金納入期間	前期授業料等納入期間
I期	2025年 10月1日(水)～10月9日(木)	2025年 10月18日(土)	2025年 11月4日(火)	2025年 11月4日(火)～11月14日(金)	2025年 11月4日(火)～12月12日(金)
II期	2025年 12月8日(月)～12月16日(火)	2025年 12月23日(火)	2025年 12月26日(金)	2025年 12月26日(金)～2026年 1月7日(水)	2025年 12月26日(金)～2026年 1月16日(金)

注1) 各出願期間最終日の翌業務日に限り、守口キャンパスにて出願窓口受付を実施します。(9:00～15:00)

注2) 合格発表日の13:00からWeb合否照会で合否を確認できます。なお、郵送での合否通知は行いません。



選考方法

面接 + 調査書 面接（50点満点）および出願書類による総合判定

出願要件

次の①～⑤のいずれかに該当し、かつ〔a〕・〔b〕のすべてに該当する者。（〔a〕は①～④のいずれか）

- 2025年3月以降に高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月までに卒業見込みの者。
- 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月までに修了見込みで、2026年4月1日時点の年齢が19歳までの者。
- 学校教育法施行規則第150条第1号から第4号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みで、2026年4月1日時点の年齢が19歳までの者。
- 高等学校卒業程度認定試験合格者で、2026年4月1日時点の年齢が19歳までの者。
- その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で、2026年4月1日時点の年齢が19歳までの者。

- 〔a〕① 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部（旧名：帝国女子大学・帝国女子短期大学・大阪国際女子大学・大阪国際女子短期大学）の卒業生の子、兄弟姉妹または孫。
 ② 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部に在籍する者の子または兄弟姉妹。
 ③ 大阪国際高等学校（旧名：大阪国際滝井高等学校・大阪国際大和田高等学校・帝国女子高校大和田校・帝国女子大学大和田高校・帝国高等女学校・帝国女子高校）の卒業生の子、兄弟姉妹または孫。
 ④ 本学在職教職員等から推薦を受けられる者。

- 〔b〕以下の出願基準を満たす者。
 大学は全体の学習成績の状況3.3以上、短期大学部は2.8以上の者。

注1) ファミリー特別選抜で不合格になった場合、以降に実施する同入試での再受験は認めません。

注2) 国際教養学部インテンシブプログラム（英語・中国語）の出願資格についてはP8参照

試験会場

本学（守口キャンパス）

特典

入学検定料免除（3万円）＋ 入学金半額免除（大学：14万円／短期大学部：12万5千円）

インテンシブプログラム（英語・中国語）受験方法

大学：国際教養学部（国際コミュニケーション学科／国際観光学科）

1 面接試験を伴う入試種別の場合

- ・総合型選抜（AO）
- ・特定地域特別選抜
- ・帰国生徒・渡日生徒特別選抜
- ・ファミリー特別選抜
- ・スポーツ・吹奏楽特別選抜
- ・専門・総合学科特別選抜
- ・学校推薦型選抜（指定校）
- ・学校推薦型選抜（公募）C方式（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
- ・一般選抜（ラストチャレンジ日程）

英語インテンシブプログラム※1

実用英語技能検定準2級以上の取得者、またはそれと同等の能力があると認めた者が対象となり、出願（AOはエントリー）時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」と実用英語技能検定等の「**合格証明書（コピー可）**」の提出が必要です。
なお、面接試験は日本語と英語で実施します。

中国語インテンシブプログラム※2

出願（AOはエントリー）時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

※1「英語インテンシブプログラム」では、入学後、大学が指定する条件を満たした者を対象に、認定留学校の授業料（1セメスター分）を大学が負担する制度があります。
※2「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

2 学科試験を伴う入試種別の場合

- ・学校推薦型選抜（公募）A方式・B方式（Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期）
- ・一般選抜前期日程・後期日程

英語インテンシブプログラム※1

出願時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

中国語インテンシブプログラム※2

出願時に本学所定の「**インテンシブ志望理由書**」の提出が必要です。

※1「英語インテンシブプログラム」では、入学後、大学が指定する条件を満たした者を対象に、認定留学校の授業料（1セメスター分）を大学が負担する制度があります。
※2「中国語インテンシブプログラム」では、入学後半年間の準備期間を経て、本学が定める基準を満たした者のみ本プログラムの継続受講が許可されます。

3 入学後のインテンシブプログラム申込み

英語インテンシブプログラムについては入学後の学科オリエンテーション時にも申込みができます（5～10名程度）。
受験時に資格がなく申込みができなかった方は入学後にぜひ申込みください。

入試
ラインナップ

入試
カレンダー

アドミ
ニシ
ョン
ポリ
シー

英語
外部
入試
利用
イン
テン
シ
ブ
プ
ロ
グ
ラ
ム

特
待
生
制
度

入
試
要
項
総
合
型
選
抜
（**A
O**）

特
定
地
域
帰
国
渡
日
社
会
人

フ
ァ
ミ
リ
ー
編
入
・
留
学
生

ス
ポ
ー
ツ
・
吹
奏
楽

専
門
・
総
合
指
定
校

公
募

一
般
ラ
ス
ト
チ
ャ
レ
ン
ジ

そ
の
他
情
報
イ
ン
タ
ー
ネ
ッ
ト
出
願

各
種
免
除
割
引
制
度
対
策
講
座

オ
ー
フ
・
キ
ャ
ン
パ
ス
イ
ベ
ン
ト

経営経済学部

経営学科

経営学科では、経営学の専門知識のみならず、経営を取り巻く社会の広い知識を身につけ、総合的な視野から社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- ① 経営学科での履修に必要な基礎学力を持ち、企業経営・マーケティング・ベンチャービジネス・スポーツビジネスに関わる学修に意欲を持つ人。
- ② 絶えず変化する社会の中であって、自らの思考能力、コミュニケーション能力を磨き、時代の先端を歩む意欲を持つ人。
- ③ 持続可能性が求められる産業・経済社会であって、現場の課題を発見し、情報を収集し、的確に判断し、問題を解決しようする意欲を持つ人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。ただし、経営学科に入学するために、経営学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

経済学科

経済学科では、経済学のみならず、経営学や情報、さらには法律や行政分野を含めた広い知識を身につけ、総合的な視野から経済社会や地域社会の発展に貢献できる人材を養成することを目指す。このために、次のような者を幅広く受け入れる。

- ① 国際化する経済社会や地域社会に関心を持ち、自主的・主体的にその問題解決に取り組もうとする強い意志を有している人。
- ② 行政・経済・税務に関わる公務員や、公共団体・NPO法人の職員、ファイナンシャルプランナーなどの金融・保険関係の専門家・責任者として活躍したいと考えている人。
- ③ 経済学を中心とする幅広い分野の学問を修めるなど、将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。ただし、経済学科に入学するために、経済学の特別な基礎知識は必要としない。大学で学ぶにふさわしい意欲と基礎学力を備えた人材であれば、すべての人を歓迎する。

人間科学部

心理コミュニケーション学科

心理コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 人間の心理と人とのコミュニケーションに関心を持っている人。
- ② 人と社会を幸せにしたいと考えている人。
- ③ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
- ④ 幅広く様々なことを学ぶ意欲がある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

人間健康科学学科

人間健康科学学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 「人間」、「社会」、「健康」に対する関心を持っている人。
- ② 「心豊かに人生を生きる技と、社会人として必要な基礎的能力を身につける」という学科の理念に共感できる人。
- ③ 将来は、健康をはじめとしたさまざまな分野で、人々の幸せのために貢献しようとする意欲を持っている人。
- ④ 何ごとに対しても積極的に取り組み、常に自分を成長させていこうと考えている人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

スポーツ行動学科

スポーツ行動学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 本学科の特性を理解し、勉学と課外活動を両立できる人。
- ② スポーツ教育、健康・スポーツ指導、スポーツマネジメントに興味・関心がある人。
- ③ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。
- ④ 幅広く様々なことを学ぶ意欲があり、地道に継続した努力を惜しまない向上心のある人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

国際教養学部

国際コミュニケーション学科

国際コミュニケーション学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 語学力と行動力をもって国際社会で活躍したいと考えている人。
- ② 多文化に関心を持っている人。
- ③ 基本的な言語コミュニケーションができること。
- ④ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

国際観光学科

国際観光学科では、学科の掲げる教育目的を踏まえ、次の者を幅広く受け入れる。

- ① 多文化や日本文化に関心を持っている人。
- ② 観光やホスピタリティに関連するビジネスに関心を持っている人。
- ③ 文化・芸術・エンタテインメントに関連するビジネスに関心を持っている人。
- ④ 基本的な言語コミュニケーションができること。
- ⑤ 将来の進路に向かって何事にも積極的に取り組む人。

以上の項目を募集方針の要素として、教科・科目を設定して筆記試験を中心とする一般選抜試験と、面接などを中心とする各種選抜試験を実施しているが、高等学校における学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」等を、それぞれの選抜試験において重みづけを行い評価する。

短期大学部

幼児保育学科

幼児保育学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 保育にかかわるすべての事柄に関心を持っている人。
- ② 幅広く様々なことを学ぶ意欲のある人。
- ③ ①、②をもとに、幼稚園教諭免許と保育士資格の取得を目指す人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

栄養学科

栄養学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 高等学校卒業程度の基礎学力を身につけている人。
- ② 食や栄養、健康に関心があり、その分野を深く学びたいという意欲を持つ人。
- ③ 自ら積極的に学ぼうとする姿勢を持つ人。
- ④ コミュニケーションの重要性を理解している人。
- ⑤ 自己成長のために努力し続けようとする姿勢を持つ人。
- ⑥ 栄養士として社会に貢献しようとする意欲のある人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

ライフデザイン学科

ライフデザイン学科では、学科の教育目的を理解し、学習成果を達成できる資質を持つ人、具体的には次のような人を求める。

- ① 将来に向かって何事にも積極的に取り組むことができる人。
- ② 多様な文化や価値観を理解し、他者とコミュニケーションができる人。
- ③ 様々な出会いや経験を通じて豊かな人生を創造したいと考えている人。
- ④ ビジネス全般に関心を持ち、様々な業界で活躍したいと考えている人。
- ⑤ 特に観光ビジネスに関心を持ち、観光業界で活躍したいと考えている人。
- ⑥ ボランティア活動などを通じた地域貢献に関心がある人。
- ⑦ 国内外の文化やことばに関心を持ち、国際交流に貢献したいと考えている人。

上記の人物像を踏まえ、筆記試験を中心とする一般選抜試験と面接などを中心とする各種選抜試験を実施し、学力の3要素である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価する。

入試
ラインナップ

入試
カレンダー

アドミッション
ポリシー

英語外部入試利用
インテグレーション
プログラム

特待生制度

入試要項

総合型選抜（A・O）

特定地域
帰国渡日社会人

フミリー
編入留学生

スポーツ・吹奏楽

専門・総合
指定校

公募

一般
入試チャレンジ

その他情報
インターネット出願

各種免除
割引制度
対策講座

オーフキャンパス
イベント